

みずほCustomer Desk Report 2019/04/12号(As of 2019/04/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.11
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.00	1.1276	125.16	1.3090	0.7166
SYD-NY High	111.70	1.1287	125.72	1.3107	0.7170
SYD-NY Low	110.91	1.1250	125.05	1.3050	0.7117
NY 5:00 PM	111.66	1.1251	125.69	1.3052	0.7124
NY DOW	26,143.05	▲ 14.11	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,947.36	▲ 16.88	日本10年債	-0.0600	0.00bp
S&P	2,888.32	0.11	米国2年債	2.3571	3.69bp
日経平均	21,711.38	23.81	米国5年債	2.3133	4.38bp
TOPIX	1,606.52	▲ 1.14	米国10年債	2.4979	3.39bp
ソコ日経先物	21,725	60	独10年債	-0.0110	1.55bp
ロンドンFT	7,417.95	▲ 3.96	英10年債	1.1480	5.30bp
DAX	11,935.20	29.29	豪10年債	1.8575	▲ 1.00bp
ハンセン指数	29,839.45	▲ 280.11	USDJPY 1M Vol	4.65	▲ 0.40%
上海総合	3,189.96	▲ 51.97	USDJPY 3M Vol	5.35	▲ 0.26%
NY金	1,293.30	▲ 20.60	USDJPY 6M Vol	6.01	▲ 0.25%
WTI	63.58	▲ 1.03	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	187.33	▲ 2.34	EURJPY 3M Vol	6.08	▲ 0.36%
ドルインデックス	97.17	0.23	EURJPY 6M Vol	6.70	▲ 0.32%

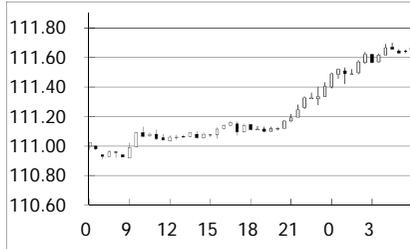
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月11日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	3月 2.3%/0.4%	2.3%/0.4%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.4%/1.3%	0.4%/1.3%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	3月 0.6%/2.2%	0.3%/1.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 196k	210k
	22:30	米 クラリダFRB副議長 講演	「米経済は幾分減速も良好」	
	22:40	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	「持続的な逆イールド、米当局は真剣に受け止める必要」	
4月12日	03:00	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「米インフレ、目標やや超えても問題ない」	

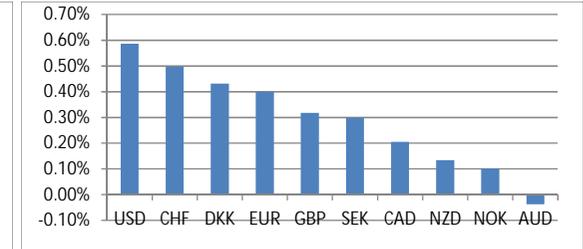
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月12日	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 -0.5%	1.4%
	21:45	欧 ブラートECB専務理事 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 98.2	98.4
		中 貿易収支	3月 \$5.70b	\$4.08b
		中 輸出/輸入(前年比)	3月 6.5%/0.2%	-20.8%/-5.2%
4月13日	01:30	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1230-1.1330	125.00-126.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は上昇した。EUが英国の離脱期限を10月末まで延長することに同意したが、ドル円相場の反応は限定的となった。その後発表された米3月PPIや新規失業保険申請件数が良好な結果となったことで、ドル円が111円台半ばまで上昇した。米株式市場は本日から始まる決算を控えて様子見ムードが漂ったものの、良好な米指標を受けて米長期金利が上昇し、ドル円相場は上げ幅を拡大させ高値111.70円をつけた。本日のドル円相場は、今週予定されていたEU首脳会議やFOMC議事要旨の公表といったイベントを無事通過したことで底堅い展開となるだろう。

東京	東京時間のドル円は111.00レベルでオープン。東京オープン前に臨時EU首脳会議にて英国のEU離脱期限を10月末まで延長することが決まったものの想定の範囲内であり相場への影響は限定的。前日のイベントはいずれもサプライズなく無難に通過したため、ドル円は動意に乏しい展開が続き111.12レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.12レベルでオープン。手掛かり材料に乏しい中、111.12円～111.24円の小幅なレンジで推移。111.20レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3070レベルでオープン。前日夜のEU臨時サミットで、BREXIT期限の再延期(10月31日まで)が決定。結局、メイ首相やマクロン仏大統領が主張していた短期延長と、トラスEU大統領が主張していた1年間延長の間を取る形で決着。再延期の合意そのものはコンセンサスだったため、相場への反応は冷ややか。方向感乏しく1.3055～1.3101のレンジで推移し、1.3086レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 北原)
ニューヨーク	NY市場のドル円は111.20レベルでオープン。朝方は、米3月PPIが予想を上回り、新規失業保険申請件数も予想を下回ったことからドル円は111.33まで上昇する。外資系国家経済会議(NEC)委員長が「私が生きている間は一生涯金利は上がらないだろう」と発言する一方、米金利上昇を背景にドル買いが継続し、111.53まで上昇する。午後に入り来週15、16日の日米貿易協定交渉前に、麻生財務相が「日本企業は米国に対して投資意欲が高い」と発言したことから円売りが強まり、111.70まで上昇する。終盤に掛けては、調整から反落し111.66レベルで加えした。一方ユーロドルは、昨夜のブリュッセル関連ニュースに対する反応は限定的となり、1.1267レベルでNYオープン。朝方は、米PPI結果を受けたドル買いに1.1255まで下落する。その後は株式市場がプラス圏で推移する動きを受け、ユーロ円が上昇する動きに1.1276までリボートされるが、株式市場が徐々に軟化する展開に、1.1257まで反落する。午後はドル買いが優勢となり1.1250まで下落する。終盤に掛けては方向感のない推移が続き、1.1251レベルで加えした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:牧・玉井